

グループ協議の目的と進め方

普段通級指導について、他校や他市のやり方を知りたくなることや、他市との意外な運営や指導の違いを見つけることがあります。特にコロナ禍以降に通級担当になった職員は、他市の様子を知る機会が少ないため、自校で受け継いだやり方以外の方法を知る機会が少ない状態です。そこで、今回は以下のような目的でグループ協議を行いたいと思います。

目的：通級についての見識を深めるために他校や他市の通級指導の運営について知る。

進め方

- ・グループはあらかじめ決められた4～6人で行います。幼児ことば、発達、言語、中学ごとにグループを組みます。
- ・講師の夏目先生は各グループを巡るので、その際に講演の内容について質問してください。(夏目先生と相談し、講演の後に質疑応答を設けるよりも効率よく時間を使えると考え、このような形にしました。ご承知おきください。)

協議内容（幼児）

- ・小学校への引き継ぎや入級条件について。
- ・通級児が市をまたいで転入してきた場合の扱いについて。
- ・その他、普段気になっていること。

協議内容（学齢）

- ①各自、短冊 2 枚に年間計画と学習形態を書き込む(事前に書き込んできている方もいる)
→グループで並べて見比べる。
- ②持ち寄った指導カードを一人ずつ紹介し合う。
- ③その他、指導する上で他校に聞いてみたいことについて話し合う。